

ひがひ

64

開祖さまのみ教え！

会長法話 / 教えの後継者を育てよう！

明るく、楽しく、細やかに

育成

宗教法人 真生会

<http://www.shinsekai-world.or.jp>

第64号（通巻169号）

平成23年1月1日発行

真生会の教えとは！

法華經の教えをもとに

仏さまの願いである

《こころと世界の樂園づくり》を

目指している在家仏教の教団です

☆心と家庭と社会を樂園にし

世界の平和を築く

一人ひとりが人格の完成を目指し

・プラス発想の前向き人間になる

・家庭と社会に役立つ人間となる

表題の言葉

育いく成せい

後継者を育てるのは家庭、企業、国家にとって最重要課題です。子育ても、人財育成も口で言うだけではダメです。

「やって見せ、言って聞かせ、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」(旧日本軍・連合艦隊司令長官、山本五十六) 有能な人物を育てることは国家百年の計なのです。

署名活動にご協力に感謝!!

新宗連の宗教協力活動の一環として行われた「北朝鮮による日本人拉致被害者の即時帰国を求めます」の緊急署名活動に各教会会員信徒皆様のまごころ込めたご協力を頂き、十月、十一月の二ヶ月間という短期間にもかかわらず、多数のご署名を集めて頂きました。書面を通じて心より御礼申し上げますとともに、成果のご報告を致します。今後も真生会は、さまざまな平和活動を通じて、真の平和世界《真生楽園》実現に向けて努力活動していきます。皆様のご協力をお願い致します。

★署名数 5, 645人

新年祝寿祈願法要



日時 一月十六日(日)

・左義長の儀 午前九時三十分

・祈願法要 午前十時～

午後一時

一年のスタートに当たり、ご家族一同の健康と活躍、隆昌の徳を積み、仏様、ご先祖様のご守護をご祈念申し上げましょう。ご家族そろってお参り下さい。



※大阪教会、所沢教会は十六日(日)
名古屋教会は十八日(火)です。
詳しくは直接お尋ね下さい。

星まつり



厄除け節分祭

日時 二月六日(日)

・当日受付 午前十時

・ご祈祷 午前十一時

・豆まき 午後一時

《上り坂、下り坂、まさか!》
厄年、年男、年女、●年は人生の分岐点。転ばぬ先の徳の杖! 神仏のご守護を頂き、大難は小難、小難は無難の一年を送りましょう!!

※名古屋教会は、総本山と合同開催です。ご参加下さい。大阪教会、所沢教会は直接お尋ね下さい。

開祖さまの み教え

家庭教育 子育ては忍辱行（堪忍）

「人のために生きなければ決して幸福にはなれない」ことをしっかりと身に付けさせることが家庭教育の要である。これは一度や二度言い聞かせるだけで教えられるものではありません。子供は口で教えようとするよりも、親が毎日行っていることを見て、自分の生き方を選んでいくものです。つまり親の精進なくして子供の躰は出来ないものです。昔から「三つ子の魂百まで」とか「鉄は熱いうちに打て」と申しますが、お互い一人前の立派な人間に成長していくためには、生まれてから大人になるまでに、人間として大切なことをしっかり教えられるということが、どうしても大切なのです。



人間の生き方というものは、誰からも導かれずして自然に養われるというものではありません。どのような偉人であろうと、子供のうちに人間として正しい方向付けがなされる必要があります。子供たちに対する方向付けは、広くはその時々生きる大人全体が果たすべき役割であり責任であるといえましょう。

特に家庭における親の責任は重大であります。子供教育に手抜きをした付けは将来に必ず回ってきます。親の誇りであり自慢の子供がある日突然「魔さか」という事件に巻き込まれ親の夢が一瞬にして消え去る事もあります。どこかが狂っていた。誰の責任でもない。親の我流の歩みが轍に落ち込んだのだと悟ることである。

(『真実に生きる』より)

会長ご真教法話

教えの後継者を育てよう!!

明るく、楽しく、細やかに

会長 田中 庸仁

平成二十三年は暦で言うところ、辛卯、七赤金星の年です。卯という字は、双葉が地上に芽を出し始めた姿です。また「卯」は「冒」とも読み「冒」に通じます。若い芽を育てるには、思い切った冒険も必要なのです。また「茂」にも通じ、草木が生い茂り門を蔽う姿です。そして、生い茂った余分な草木を切り開き、二人が力を合わせて門の扉を開く姿も現れます。一人の力ではなく、夫婦、先輩後輩、社長と専務、幹部と

社員など一致協力して扉を開き、新しい状況を切り開く運氣の年です。

つまり、今年は「新しい芽を育て、大いに伸ばす年」なのです。

また七赤金星は、明るさ、優しさ、楽しさ、細やかさの意味を持っています。そして、金星は金の性質ですから、物事が形にしっかりと表れてきます。若者が台頭し、新しい組織、新しいシステム、新しい価値観がはつきりと現れてくる年と言えます。

そこで、今年の真生会の布教活動方針は「教えの後継者を育てよう!!」

明るく、楽しく、細やかに」

と、掲げさせて頂きました。

混乱する政治、経済、崩壊しつつある家

庭の絆きずなを打開するには、優秀な人財ひとづちを育て有徳の人物を生み出す以外にありません。

部品のように取り替えの効く「人材」ではなく、一人一人の個性や長所を生かし、すべての人は仏様がこの世に遣わして下さった大切な「人財」として育て、世のため人のためになる「人物」になることが大切です。

ある会合でこんな話を聞きました。ある若手国会議員が、中曽根元首相に今の国会議員に欠けているものは何か、国会の混迷の根本原因は何かと尋ねたら、「国会議員に信仰心が無くなったからである」と一刀両断に明言されたそうです。

まさに聖徳太子の「教え亡き者は禽獣さんじゆうに

等しい」の教訓のとおりです。

単なる地位や役目の継承や後継者ではなく、しっかりと信仰を身に付けた《教えの後継者》を育てなくてはなりません。

それには、やはり家庭に信仰があり、家庭を整えることが第一です。小さな頃から日常的に信仰にふれ、心に信仰心が植えつけられ、年とともに信仰心が深まってこそ、世のため人のために役立つ、立派な人財、人物になりえるのです。

人財育成は、マニュアル通りの自動販売機のようにには行きません。若者や後継者に譲ゆずって「ああ！やれやれ、これでお役御免ごめん」という無責任な放任主義であったり、アレやれコレやれと、しっかりと教えもせず

に仕事を丸投げし、怒ったり小言を言うだけでは育つどころか潰れてしまいます。

「やつて見せ、言つて聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」です。

明るく、楽しく育てるのは本より、先ず「手本を見せて、よく教えて、信じて任せて経験させて、認めてあげる」手取り足取り、細やか（濃やか）な気遣いをして育てていくことです。

★良き後継者になるには、師匠が必要

人徳ある良き師に付いて、常に添削を受けながら自分を磨いていくことを忘れてはいけません。開祖さまは「人生、死ぬまで勉強である」「師のない人生は、首のない人間と同じであり、ハンドルの無い自動車、

舵の無い船と同じでどこへ向かって進んでいくのか、どこに到着するのかわからない」と教えて下さいました。

みなさんには、ちゃんと自分を添削してもらった師、開祖さま仏様につながる師がありますか？自分先生であったり、途中で途切れてしまつていては大変です。

そして、親子縁の良くない人は、なかなか良き師に付くことができません。

せつかく師に付いても、尊敬できなかったり、いろいろな事情ですぐ縁が切れてしまうのです。親と早く死別した、親と意見が合わなかった、尊敬できなかった、心配掛けた…という人は、総じて師匠取りが悪い人が多いのです。もし親さんが生きて見

えたら、今からでも親の良い所を見て尊敬し、親を喜ばせ、安心させ、親孝行することです。もし、亡くなってしまうていたら、毎月お詫^わびの先祖供養を続けて親子縁を強くすることです。

最近、バラエティー番組で人気の戦場カメラマン、渡辺陽一さんは、出演の依頼が来たとき悩んだそうです。悲惨な戦場の現実を伝える自分が、バラエティー、お笑いの番組に出ても良いのだろうか：？と。

そのとき彼は、自分のカメラの先生に相談に行き、指導を受け、心構えをしっかりと決めて出演することに決めたそうです。一匹狼に思えるようなカメラマンである彼には、その道の師匠があったから、迷うこと

なく自信を持って、前進することができたのです。昨今、師匠のない人がいっぱいです。政治家も教育者も企業経営者も、一家を引つ張っていく親も、舵の無い船で蛇行^{だこう}運動し、国家の危機、企業の低迷、家庭崩^{ほう}壊を招いています。

「三歩下がって師の影踏まず」せっかく師に付いたら、三歩下がる尊敬心は大切ですが、三歩以上下がるはいけません。

法座に来て先生の法話を聞くだけでは善良な聴衆に過ぎません。添削を受けてこそ師弟です。「師匠の知恵は弟子次第」相談し質問するからこそ師の知恵が湧^わき出るように頂けるのです。師匠を持った人生を渡りましょう。

今月の運勢（1月）

（2011年1月6日～2月3日）

一 白水星

新年は忙しいことから始まる。昨年やり残したことや、課題を完成させる時。上司や先輩、有力者の応援があり、思いかけない成果となる。軽口や軽率な行動に注意をしよう。

二 黒土星

今月は楽しい出合いがあり、また、家族を中心とした和やかな月となる。家族で食卓を囲んだり、楽しい茶話会をすると運気がアップ。誰に対しても落ち着いた対応を。

三 碧木星

変化の月に来ている。予想外の動きが多く見

られ、戸惑う事が多い。

無理に動くこと失うものが多いので、柔軟な姿勢で変化に乗って行こう。体調管理に気を付けるように。風邪を引くと長引くから注意。

四 緑木星

今月は忙しさのなかで目立つ事がある。目立つ事で反感や反発をもたれるから注意。一人突出せず、家族や仲間と協力する事が大切。思いもよらない事故が起きやすいから注意をする。

五 黄土星

新年が始まったばかりだが、体調がすぐれず、あちらこちらと身体は

不調をきたす。人間関係

を大切にすることに心掛けよう。睡眠時間を十分にとるように。来月から運氣回復。

六 白金星

先月の運命低迷から脱出。二月以降、とんでもない忙しさがやってくる。今月は少しのんびりして心に余裕を持つとう。今のうちに師匠や教会、親類、友人の所に足を運ぼう。今月は静かに暮らそう。

七 赤金星

新年早々から高運気を迎えている。体調はいいし、精神的にも活動の気が充滿している。勢いづいているから積

極的に目標を定めて進む事。調子が良い時こそ謙虚さを忘れずに。

八 白土星

新年は絶対好調からはじまる。体調は万全で、気力も充実している。物事がスムーズに進み、あらゆる事が順調に運ぶ。好調な時ほど人に優しく接しよう。先祖供養を忘れずに。

九 紫火星

運氣は強いが、周囲から注目されているから行動や言動に注意をしよう。冷静に物事を考え、全体を見るようにして、今月は大きな動きはしないように。教会に行こう。

こころの扉

人に勝たんでもいい：

でも、自分に負けたらあかん！？

命は本人のものだけと

自分だけのものじゃない

人がどう思おうとも

自分には自分にしかならないこ

とがある

いま、目の前の小さな良い事

自分のできることを続けよう！！

コツコツとまごころ込めて：

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|------------------------|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地 |
| | | T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 | 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1 - 9 - 5 |
| | | T E L 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10 |
| | | T E L 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19 |
| | | T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10 |
| | | T E L 06 - 6308 - 5637 |

”ひかり”購読無料 上記最寄の教会にハガキにて
お申込み下さい。必要な冊数を毎月無料でお送りします。